



2008年度第1四半期決算の概要

2008年7月30日

株式会社 **WOWOW**



I . 2008年度第1四半期決算

番組強化と「番組訴求型営業」の徹底推進で成果

- **世界的スポーツイベントをフックとした加入推進**
 - ・『UEFA EURO 2008™』全31試合生中継、ハイビジョン放送(6月)
 - ・グランドスラム4大会の『ウィンブルドンテニス』を初めて放送
- **ドラマW初の連続ドラマ『パンドラ』を放送(4~5月、全8話)**
 - ・第1話を無料放送、4月の加入動機の第1位に
- **新料金体系に移行、デジタル放送への新規加入・移行を促進**
 - ・加入料廃止、デジタルダブル契約の新設(2,300円⇒900円)
 - ・デコーダを必要とするアナログの新規加入受付を終了

正味加入件数は、前年同期から大幅に改善

- デジタルを中心に加入増、デジタル加入は累計152万件に
 - ・前年同期は、06年度の「価格訴求営業」の反動で大幅減

(単位:件)

	07年度1Q	08年度1Q	前年同期差	前年同期比
新規加入件数 (内、デジタル新規)	96,902 (74,378)	180,148 (131,381)	83,246 (57,003)	185.9% (176.6%)
正味加入件数	△50,514	28,176	78,690	—

- 収支は前年同期に比べ、増収・減益となる

- ・計画通り、コンテンツ強化のため積極的に費用投下
- ・第2四半期(4~9月)では、黒字に転換の見込み

(単位:百万円)

	売上高	前年同期差 /比	営業利益	前年同期差 /比	経常利益	前年同期差 /比	四半期 純利益	前年同期差 /比
連結	16,456	260 101.6%	△232	△2,205 —	△241	△2,371 —	△440	△2,136 —

2008年度第1四半期 加入状況



(単位:件)

	アナログ	前年同期差 /比	デジタル	前年同期差 /比	合計	前年同期差 /比
新規加入	48,767	26,243 216.5%	131,381	57,003 176.6%	180,148	83,246 185.9%
解約	61,139	△6,300 90.7%	90,833	10,856 113.6%	151,972	4,556 103.1%
正味加入	△12,372	32,543 27.5%	40,548	46,147 —	28,176	78,690 —
デジタル移行	△29,108	5,549 —	29,108	△5,549 84.0%	—	—
純増(移行含む)	△41,480	38,092 52.1%	69,656	40,598 239.7%	28,176	78,690 —
内、デジタルダブル	—	—	10,488	—	10,488	—
累計正味加入	950,673	△238,471 79.9%	1,515,267	321,340 126.9%	2,465,940	82,869 103.5%
内、デジタルダブル	—	—	77,010	—	77,010	—
アナ/デジ比率	38.6%		61.4%		100.0%	

累計正味(前年同期)	1,189,144	△281,105 80.9%	1,193,927	299,001 133.4%	2,383,071	17,896 100.8%
アナ/デジ比率(前年同期)	49.9%		50.1%		100.0%	

*2006年12月よりBS-5チャンネル(アナログ)と同一の編成サービスをCSデジタル放送(124/128)「スカイパーフェクTV!」で行っており、加入件数はアナログ加入に含んでおります。

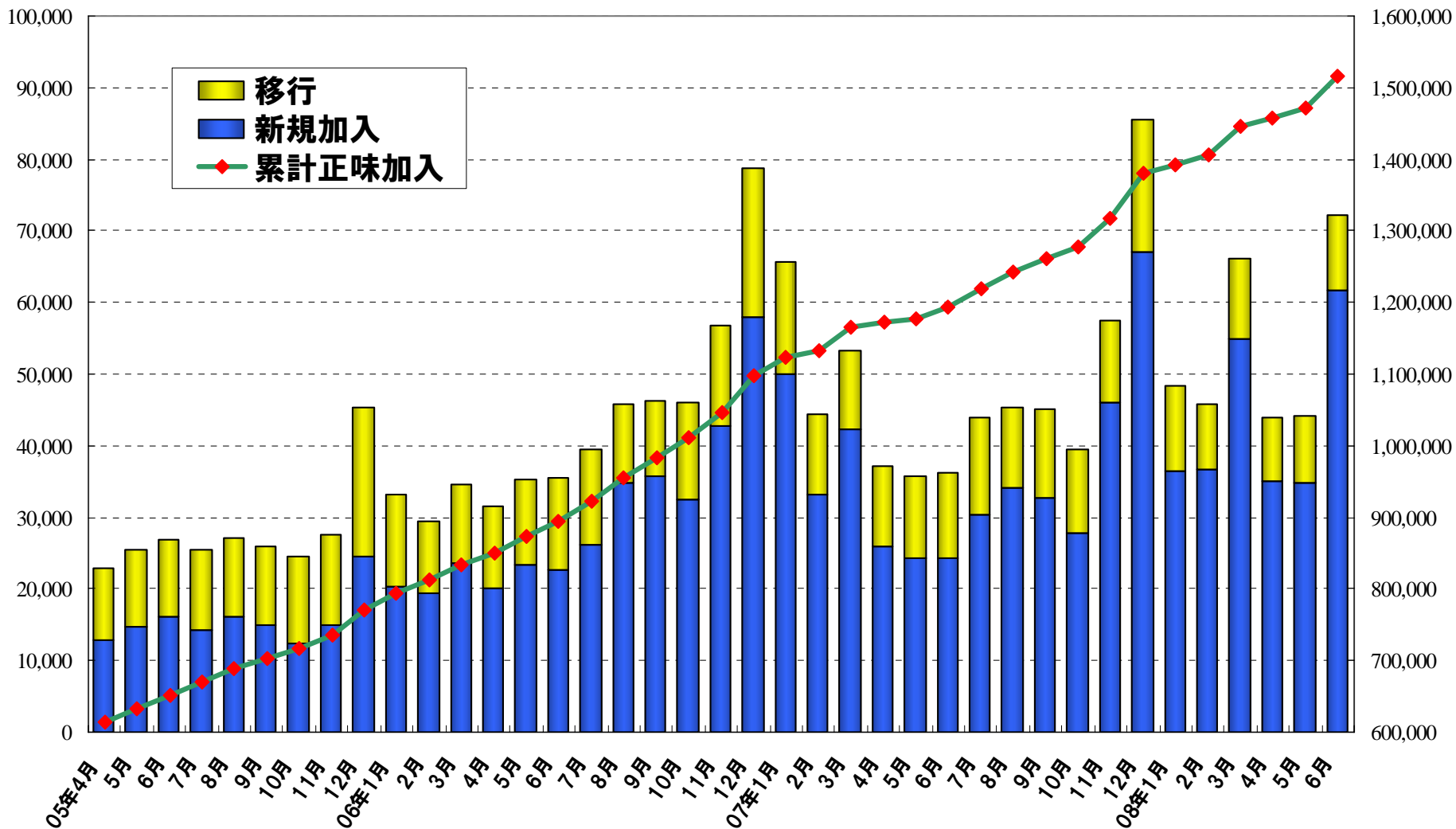
*デジタルダブルは「同一契約者による2つ目のデジタル契約」のことで、割引料金を適用(月額2,300円⇒900円〔税抜き〕)

デジタル加入件数の推移



新規、移行(件)

累計(件)



2008年度第1四半期 収支状況(連結)



(単位:百万円)

	2007年度1Q		2008年度1Q		前年同期との比較	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上高	16,195	100.0%	16,456	100.0%	260	101.6%
売上原価	8,326	51.4%	10,377	63.1%	2,050	124.6%
売上総利益	7,869	48.6%	6,079	36.9%	△1,789	77.3%
販管費	5,895	36.4%	6,311	38.4%	416	107.1%
営業利益	1,973	12.2%	△232	△1.4%	△2,205	—
営業外損益	156	1.0%	△9	△0.1%	△165	—
経常利益	2,130	13.2%	△241	△1.5%	△2,371	—
四半期純利益	1,695	10.5%	△440	△2.7%	△2,136	—

※それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

2008年度第1四半期 収支状況(単体)



(単位:百万円)

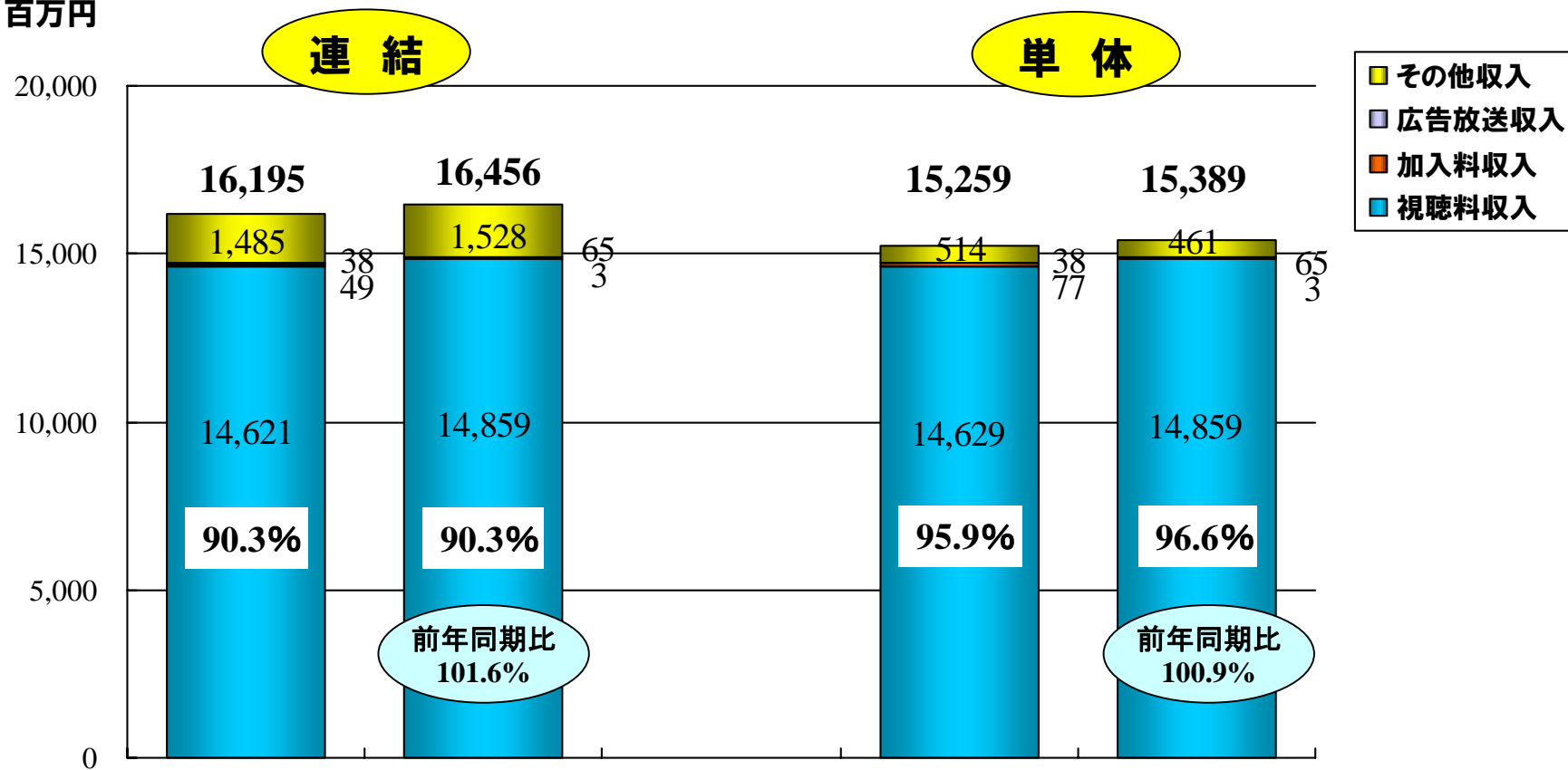
	2007年度1Q		2008年度1Q		前年同期との比較	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上高	15,259	100.0%	15,389	100.0%	130	100.9%
売上原価	8,290	54.3%	10,312	67.0%	2,022	124.4%
売上総利益	6,968	45.7%	5,076	33.0%	△1,891	72.9%
販管費	5,196	34.1%	5,631	36.6%	434	108.4%
営業利益	1,771	11.6%	△554	△3.6%	△2,326	—
営業外損益	101	0.7%	288	1.9%	186	283.6%
経常利益	1,873	12.3%	△266	△1.7%	△2,139	—
四半期純利益	1,541	10.1%	△314	△2.0%	△1,855	—

※それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

売上高 前年同期対比



百万円



2007年度1Q	2008年度1Q	収入項目	2007年度1Q	2008年度1Q
49	3	加入料収入	77	3
14,621	14,859	視聴料収入	14,629	14,859
38	65	広告放送収入	38	65
1,485	1,528	その他収入	514	461
16,195	16,456	計	15,259	15,389

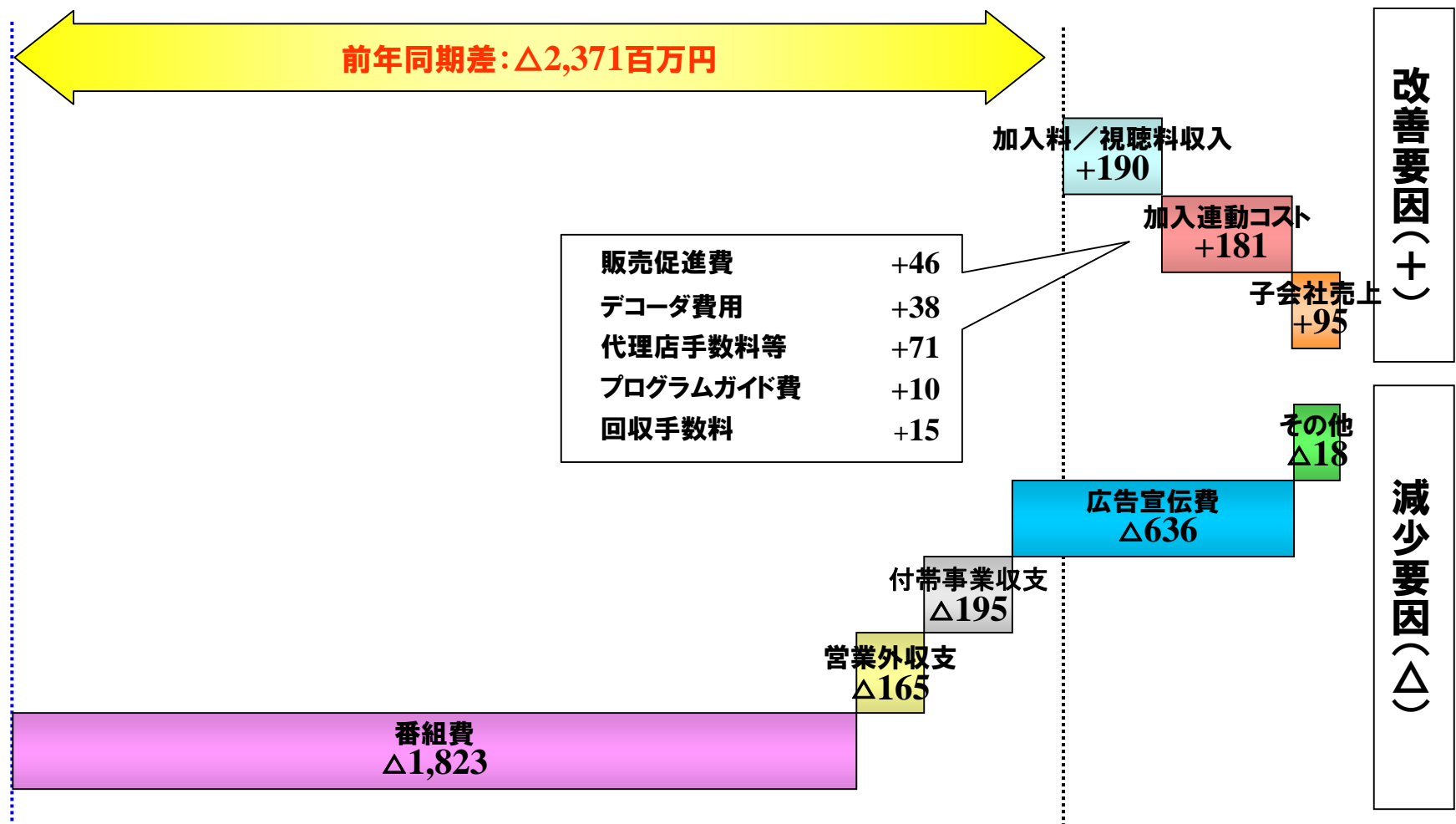
(単位:百万円)

経常利益 前年同期との差異要因(連結)



(実績: $\Delta 241$ 百万円)

(前年同期実績: 2,130百万円)



※各要因の数値は前年同期との差異、“+”が改善要因

新規加入に連動するコスト(単体)



(単位:百万円)

	2007年度 1Q	2007年度	2008年度 1Q	前年同期比
販売促進費	266	1,141	197	74.0%
デコーダ費用	39	92	0	2.5%
代理店手数料	221	903	118	53.5%
計	527	2,137	316	60.1%
新規加入件数	96,902件	559,772件	180,148件	185.9%
1件当たり平均コスト	5,438円	3,818円	1,754円	32.3%
無料施策による値引額	353	1,790	297	84.1%
値引含む平均コスト	9,081円	7,015円	3,408円	37.5%

※費目別及びその合計金額は、百万円未満切り捨てております。

(単位:百万円)

	WOWOW (単体)	WOWOW コミュニ ケーションズ	WOWOW マーケ ティング	連 結
売上高	15,389	1,868	45	16,456
営業利益	△554	347	△7	△232
経常利益	△266	341	△6	△241
四半期純利益	△314	200	△7	△440

※それぞれ百万円未満を切り捨てております。



II. 2008年度業績見通し

“これからのテレビ”へ展開拡大 ～上質なコンテンツで、3年連続加入者純増へ～

1. ハイビジョン複数チャンネルを見据えたコンテンツ強化
⇒ UEFA EURO 2008™ 全試合生中継／ドラマW初の連続ドラマ2シリーズ
2. 番組訴求型営業による加入者純増 ⇒ 加入者純増6万件
3. “BSデジタル放送完全移行”へ向けての取り組み ⇒ デジタル比率 73%
4. 放送サービスの強化 ～新サービス開発など ⇒ IP再送信、VOD、モバイル
5. No.1プレミアムペイチャンネルとしてのビジネス基盤整備 ⇒ 新システム稼働

● 音楽ライブ+イベント展開

『サザンオールスターズ「真夏の大感謝祭」30周年記念LIVE』(8月24日)

『ROCK IN JAPAN FES.2008』(9月)

● メガヒット映画

『パイレーツ・オブ・カリビアン／ワールド・エンド』『ダイ・ハード4.0』

『トランスフォーマー』『恋空』『ボーン・シリーズ三部作一挙放送』

● 海外ドラマ

『コールドケース4』 米国大ヒットドラマ(7月～)

『SEX AND THE CITY』一挙放送(8月)・・・映画版公開にあわせて

● スポーツ

スペインサッカー リーガ・エスパニョーラ 08-09シーズン開幕(8月30日～)

全米オープンテニス(8月25日～9月8日)

● 無料放送の日(8月30日)

● 9月に集中編成『男たちのサスペンス』3作品

『シリアスの道』

原作：藤原伊織 監督：石橋冠 脚本：吉本昌弘

出演：内野聖陽 寺島進 真矢みき ほか



『シリアスの道』

『横山秀夫「ルパンの消息」』

原作：横山秀夫 監督：水谷俊之 脚本：田辺満、水谷俊之

出演：上川隆也 岡田義徳 長塚京三 ほか



『横山秀夫「ルパンの消息」』

『6時間後に君は死ぬ』

原作：高野和明 総合演出・監督：小中和哉 脚本・監督：高野和明

出演：塚本高史 真木よう子 沢村一樹 ほか



『6時間後に君は死ぬ』

● 連続ドラマW第2弾 11月放送予定

● 映画製作レーベル **WOWOWFILMS** 作品

第2弾『きみの友だち』公開中

監督: 廣木隆一 脚本: 斉藤ひろし 原作: 重松清
出演: 石橋杏奈 北浦愛 福士誠治 吉高由里子



『きみの友だち』

第3弾『その日のまえに』公開決定(11月)

監督: 大林宣彦 脚本: 市川森一 原作: 重松清
出演: 南原清隆 永作博美



『その日のまえに』

● 製作参加作品

『TOKYO!』

『セックス・アンド・ザ・シティ』(配給出資)

『グーグーだって猫である』

『アキレスと亀』

『イキガミ』

『ハンサム★スーツ』



『セックス・アンド・ザ・シティ』

きみの友だち©2008映画「きみの友だち」製作委員会、その日のまえに©2008「その日のまえに」製作委員会
セックス・アンド・ザ・シティ©MMVII New Line Productions, Inc. Sex and The City TM is a trademark of Home Box Office, Inc. All Rights Reserved.

(単位:千件)

	2007年度 実績	2008年度 計画	前期との比較	
			前期差	前期比
新規加入	560	710	150	126.8%
解約	556	650	94	117.0%
正味加入	4	60	56	—
内、デジタルダブル	—	40	—	—
累計正味加入	2,438	2,498	60	102.5%
アナログ	992	667	△325	67.2%
デジタル	1,446	1,831	385	126.6%
内、デジタルダブル	67	107	40	159.7%
デジタル比率	59.3%	73.3%	14.0%	—

*2006年12月よりBS-5チャンネル(アナログ)と同一の編成サービスをCSデジタル放送(124/128)「スカパーフェクTV！」で行っており、加入件数はアナログ加入に含んでおります。

*デジタルダブルは「同一契約者による2つ目のデジタル契約」のことで、割引料金を適用(月額2,300円⇒900円[税抜き])

2008年度 収支計画



(単位:百万円)

		2007年度実績		2008年度計画		前期との比較	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
連 結	売上高	65,419	100.0%	66,600	100.0%	1,180	101.8%
	営業利益	5,448	8.3%	2,600	3.9%	△2,848	47.7%
	経常利益	6,130	9.4%	2,700	4.1%	△3,430	44.0%
	当期純利益	3,438	5.3%	1,700	2.6%	△1,738	49.4%
単 体	売上高	61,416	100.0%	62,700	100.0%	1,283	102.1%
	営業利益	4,140	6.7%	1,500	2.4%	△2,640	36.2%
	経常利益	4,634	7.5%	1,800	2.9%	△2,834	38.8%
	当期純利益	2,666	4.3%	1,400	2.2%	△1,266	52.5%
年間配当		3,000 円/株		3,000 円/株		0	100.0%

※それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

(単位:百万円)

		07年度上期実績		08年度上期計画		前年同期との比較	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
連 結	売上高	32,313	100.0%	33,200	100.0%	886	102.7%
	営業利益	3,774	11.7%	950	2.9%	△2,824	25.2%
	経常利益	4,148	12.8%	1,000	3.0%	△3,148	24.1%
	当期純利益	3,229	10.0%	100	0.3%	△3,129	3.1%
単 体	売上高	30,421	100.0%	31,100	100.0%	678	102.2%
	営業利益	3,245	10.7%	350	1.1%	△2,895	10.8%
	経常利益	3,532	11.6%	650	2.1%	△2,882	18.4%
	当期純利益	2,895	9.5%	50	0.2%	△2,845	1.7%

※それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

2008年度下期 収支計画



(単位:百万円)

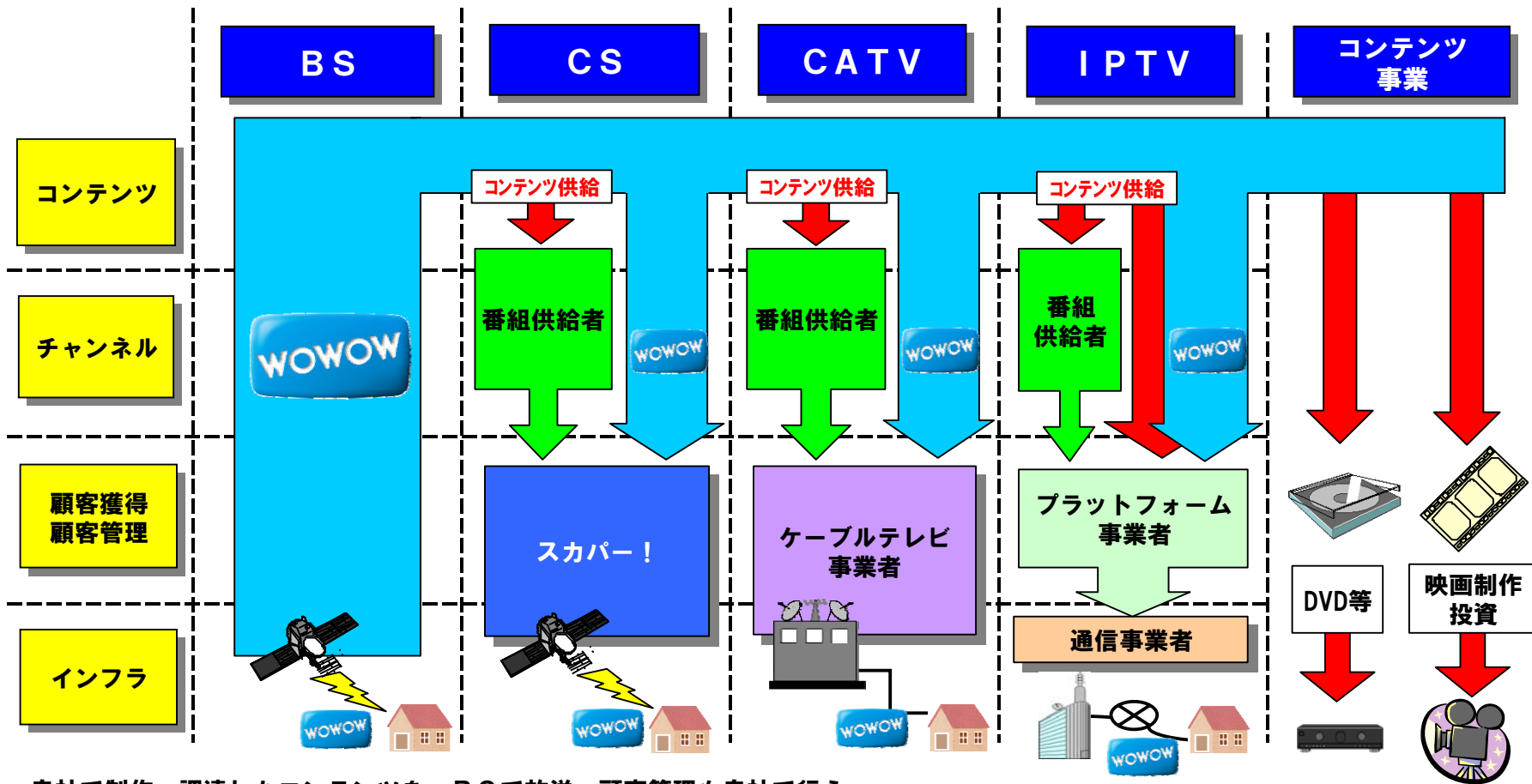
		07年度下期実績		08年度下期計画		前年同期との比較	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
連 結	売上高	33,106	100.0%	33,400	100.0%	293	100.9%
	営業利益	1,674	5.1%	1,650	4.9%	△24	98.5%
	経常利益	1,981	6.0%	1,700	5.1%	△281	85.8%
	当期純利益	208	0.6%	1,600	4.8%	1,391	765.7%
単 体	売上高	30,994	100.0%	31,600	100.0%	605	102.0%
	営業利益	895	2.9%	1,150	3.6%	254	128.4%
	経常利益	1,101	3.6%	1,150	3.6%	48	104.4%
	当期純利益	△228	△0.7%	1,350	4.3%	1,578	—

※それぞれ、百万円未満は切り捨てております。



III. No.1プレミアム・ペイチャンネルとして さらなる飛躍に向けて

WOWOWはあらゆる伝送路に展開している 徹底してコンテンツを強化し、それぞれの伝送路で収益拡大を図る



自社で制作、調達したコンテンツを、BSで放送、顧客管理も自社で行う。
BSだけでなくCS、ケーブルテレビ事業者を通じてサービス提供。No.1プレミアムチャンネルとして視聴者を増やすと共に市場規模の拡大にも貢献。さらには番組供給者への番組販売、パッケージ化、映画制作、投資などの付帯事業にも重点

完全デジタル化を見据えた戦略を遂行し、将来の収益拡大につなげる

**2008年度
事業計画**

新たなステージへ向けて踏み出す

- 自ら“稼げるコンテンツ”を生み出す企業へ向けて投資を開始

**2009年度～2011年度
中期経営計画**

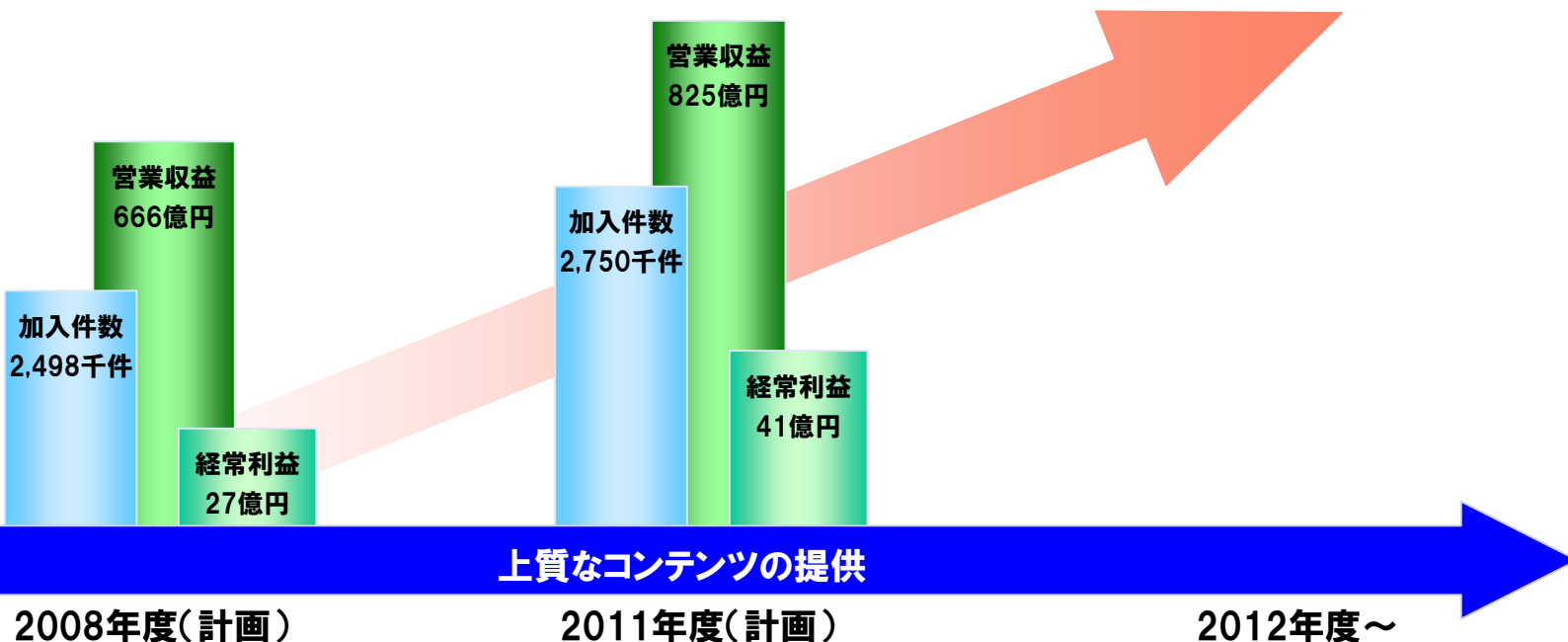
ハイビジョン複数チャンネルを目指す

- 複数チャンネルに適応すべく、徹底してコンテンツの質・量を充実させる

**2012年度～
放送の完全デジタル化時代**

No.1プレミアム・ペイチャンネルとしてさらに飛躍する

- ブランド価値向上及び収益拡大を図る
ハイビジョン複数チャンネルは放送権の効率的運用、既存インフラの継承により収益面でも効果大



2011年以降の複数チャンネル化に関する行政手続スケジュール

2008年

6月25日:『新たなBSデジタル放送に係る委託放送業務の認定に関する基本的方針(案)』について → 意見書提出

8月:『新たなBSデジタル放送の参入希望調査開始』

→ 調査結果公表は9月頃

11月:『基本方針及び参入希望調査の結果を踏まえた制度整備(案)』の意見募集開始

2009年

1月:制度整備(案)に関する電波管理審議会諮問

4月:委託放送業務認定の申請受付開始

7月:委託放送業務の認定

本資料における注記事項

当資料に記載の業績予想は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた発行日現在の見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。

実際の業績は、様々な要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与え得る要素には、当社及び当社グループ会社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向などが含まれております。

ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

株式会社 WOWOW

本資料に関するお問合せ先

(マスコミ関係) 広報部	TEL 03(5414)8090
(IR関係) IR経理部	TEL 03(5414)8191